



施策・事務事業マネジメントシート【令和6年度】

1 施策の基本情報

施策名		06 共に支え合う地域福祉の推進
目的	対象	市民, 地域活動団体, 福祉サービス事業者, 福祉団体
	意図	地域で役割分担して暮らしを支え合うことができる
施策の方向		誰もが住み慣れた場所で, 社会から孤立することなく, いきいきとした生活を送ることができるよう, 地域で支え合い, 認め合い, とともに生きるまちづくりを推進するとともに, 地域における住民主体の活動を支援することにより地域福祉の充実を図ります。

2-1 施策全体の考察①（施策の目的, 方向に対する考察）

<p>施策の目的, 方向に対する考察</p> <p>令和6年度を計画期間の初年度とする新たな調布市地域福祉計画を策定するとともに, 地域共生社会の充実に向けて, 一体的な取組を推進するため, 調布市地域福祉計画に調布市成年後見制度利用促進基本計画及び調布市重層的支援体制整備事業実施計画を包含して策定した。</p> <p>また, 令和5年度から「相談支援」, 「参加支援」, 「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する重層的支援体制整備事業に移行したことにより, 多機関協働による包括的な支援体制の構築を推進した。</p> <p>今後については, 地域共生社会の充実に関する国や東京都の動向を踏まえながら, 複雑化・複合化した支援ニーズに対応する重層的な支援体制の整備等を推進するとともに, 住民主体の地域における支え合いの仕組みづくりに向けて, 多様な交流の場の充実, 地域で活動する人材の養成, 多様な地域活動が生まれやすい環境整備等に取り組む必要がある。</p> <p>また, 福祉人材について, 養成・確保に向けた取組を充実させていく必要がある。</p>
--

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
地域福祉コーディネーターの新規相談件数（個別支援）	件	429件 令和3年度	431	470 令和8年度	▼	<ul style="list-style-type: none"> 個別ケースに関する相談対応や当事者への支援等を行う個別支援においては, 前年度（444件）と比較して件数としては減少したが, 複雑化・複合化した支援ニーズに対して, 支援関係機関等のそれぞれの役割を踏まえながら, 多機関協働による相談支援等を実施することができた。 今後も引き続き, 重層的支援体制整備事業の取組の下, 各支援関係機関等の役割分担や調整を図りながら, 取組の充実を図る必要がある。
地域福祉コーディネーターの新規相談件数（地域支援）	件	348件 令和3年度	356	450 令和8年度	▼	<ul style="list-style-type: none"> 住民主体の交流活動の場や地域活動等に関する相談対応や支援等を行う地域支援においては, 前年度（394件）と比較して件数としては減少したが, 地域の様々な活動主体と連携しながら, 多様な住民主体の交流活動の場への充実に向けた支援を行うなど, 地域における支え合いの仕組みづくりを推進することができた。 今後も引き続き, 重層的支援体制整備事業の取組の下, 地域の様々な活動主体と連携しながら, 多様な住民主体の交流活動の場の充実等を図る必要がある。

※ ◎: 目標達成 ○: 目標値を未達成（前年度より向上した） ▼: 目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒: 目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） - : 数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■06-1 地域におけるトータルケアの推進

No	基本計画事業名	R5取組実績	R5取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
27	【重点③】 地域福祉コーディネーターを中心とする包括的な支援体制の構築	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度から重層的支援体制整備事業に移行 8つの福祉圏域に配置した地域福祉コーディネーターを中心として, 地域の生活課題に対する個別支援への対応や各福祉圏域における支援関係機関等のネットワークの構築等に取り組んだ。 調布市相談支援包括化推進会議に, 重層的支援会議及び支援会議を包含し, 複雑化・複合化した支援ニーズに対する支援プラン等について検討 令和6年度からの新たな調布市地域福祉計画を策定し, その重点施策の一つとして「地域におけるトータルケアの推進」を位置付けた。 	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<ul style="list-style-type: none"> 既存の相談支援等の取組を生かしながら, 組織横断的な連携により, 重層的な支援体制の整備に向けた取組を推進 新たな調布市地域福祉計画に基づき, 重層的支援体制整備事業の取組の下, 複雑化・複合化した支援ニーズに対応する多機関協働による包括的な支援体制の構築を推進 重層的支援会議, 支援会議等を通じて支援プランの作成や支援関係機関等のネットワークの構築を図る。 新たな調布市地域福祉計画の重点施策の一つとして位置付けた「地域におけるトータルケアの推進」の取組により, コーディネート機能の強化, 社会参加につながる支援・環境づくり等を推進

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①地域共生社会の充実に向け、調布市地域福祉計画、調布市高齢者総合計画、調布市障害者総合計画の新たな福祉3計画を策定 ②調布市地域福祉計画に包含して調布市成年後見制度利用促進基本計画及び調布市重層的支援体制整備事業実施計画を策定 ③調布市福祉のまちづくり条例に基づき、新たな調布市福祉のまちづくり推進計画を策定 ④調布市更生支援推進協議会を設置し、調布市更生支援プラン（調布市再犯防止推進計画）を推進 ⑤「新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会」での議論を踏まえ、施設の整備等に関する市の基本的な考え方や、検討会から市への提言等について、「新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会報告書」として取りまとめた。	①新たな福祉3計画を基軸として、関連施策と連携を図りながら、地域共生社会の充実に向け、分野横断的な取組を推進 ②複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、地域福祉の取組と一体的に成年後見制度の利用促進の取組等を推進 ③ユニバーサルデザインの理念に基づき、福祉のまちづくりに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る。 ④新たな調布市地域福祉計画とも連携を図りながら、更生支援（再犯防止）の取組を推進 ⑤新たな総合福祉センターの整備に向けて、組織横断的な連携の下、引き続き利用者・関係団体等の御意見を丁寧に向いながら、取組を推進

■06-2 住民主体の地域における支え合いの仕組みづくり

No	基本計画事業名	R 5 取組実績	R 5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
28	福祉人材育成事業の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	<ul style="list-style-type: none"> 調布市福祉人材育成センターにおける各種研修・講座等の受講者・参加者数は、引き続き、オンラインによる研修実施の積極的な活用により、前年度1,456人から1,732人に増加 調布市障害者地域自立支援協議会での検討・提言を受け、障害理解の推進のため、障害当事者の立場からの発信を担うことができる人材を育成する当事者講師養成研修を新たに実施 地域における医療的ケア児・者の支援体制整備のため、有資格者向けの技術向上研修を実施 新規就労希望者のための「福祉のしごと相談・面接会」を開催 	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<ul style="list-style-type: none"> 調布市福祉人材育成センターにおける資格取得後の就労状況の改善への取組 サービスの質の向上へ向けた専門研修の内容充実 地域で生活する医療的ケア児・者の増加に対応するための医療的ケアを担う人材の育成及び確保 当事者講師養成研修を修了した当事者講師の活動機会の確保と更なる活用による障害理解の一層の推進

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①調布市福祉作業所等連絡会との懇談会において、人材確保の課題について意見交換を実施 ②出前講座において、市職員を虐待防止等の研修講師として市内事業所に派遣 ③地域福祉コーディネーターの地域支援の取組等により、住民主体の地域活動の支援等を実施 ④地域福祉コーディネーターと地域支え合い推進員等が連携しながら、住民主体の交流活動の場の充実を図るとともに、地域活動等の活性化を支援 ⑤地域福祉コーディネーターの取組を通じて、関係機関や企業等と連携しながら、既存の社会資源の拡充や社会とのつながりづくりに向けた取組等を実施 ⑥新たな調布市地域福祉計画の策定において、調布市社会福祉協議会が策定する調布市地域福祉活動計画との連携を図った。	①事業者の意見を引き続き取り入れつつ、調布市福祉人材育成センターの事業内容の充実を図る。 ②他事業・他分野との連携を視野に入れ、広く人材の育成及び確保への取組を推進 ③新たな調布市地域福祉計画の重点施策の一つとして位置付けた「住民主体の地域における支え合いの仕組みづくり」の取組により、多様な交流の場の充実、地域で活動する人材の養成等を推進 ④重層的支援体制整備事業における「地域づくりに向けた支援」の取組の下、多様な地域活動が生まれやすい環境の整備を推進 ⑤調布市社会福祉協議会等と連携しながら、「ひだまりサロン」をはじめとした住民主体の交流活動の場の充実を図るとともに、地域活動等の活性化を図る。 ⑥市の調布市地域福祉計画と調布市社会福祉協議会の調布市地域福祉活動計画との連携により、住民の身近な地域で、住民が主体的に地域課題を解決する支え合いの仕組みづくりを推進

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和5年度の取組実績及び令和6年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉コーディネーター等の支援を通じたデジタル技術を活用した居場所の充実等により、デジタルデバイス解消の取組を推進 調布市福祉人材育成センターにおいて、オンラインを活用した研修実施を継続し、場所や時間にとらわれない研修機会等の拡大を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉コーディネーターと支援関係機関等との連携により、多機関協働による包括的な支援体制の構築を図る。 地域福祉コーディネーターと支援関係機関等との連携により、既存の社会資源の拡充や社会とのつながりに向けた取組を推進 調布市社会福祉協議会等と連携し、住民主体の交流活動の場の充実を図るとともに、地域活動等の活性化を図る。 民生委員・児童委員や保護司などの関係機関等との連携により、地域福祉の向上を目指す。
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
<ul style="list-style-type: none"> 新たな総合福祉センターの整備において、環境に配慮した施設整備等を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな総合福祉センターの整備において、フェーズフリーの考え方を踏まえて整備を進める。